



現在、心配な状況としてもう一つ、ガソリンや灯油を始めとした燃料の価格が大変高騰しております。ガソリンで170円/ℓを超えると言うことで、原油の卸価格も大分上がっております。以前に170円を超えたのは2008年の9月位のことです。13年と4か月以来です。これは我々にとっては非常に大変な事でございます。そこで今日発表があったのか、これからなのかちょっと分かりませんが、このガソリンの価格、灯油も含めて抑制すると言う事で、政府が抑制策を発表すると言う事でございます。よくよく考えてみたら、このような事をする前に、大分前に出来た法律なのですが、170円じゃなくて、160円/ℓを超えた時に税金が今1ℓあたり53.80銭、46%を減税するという法律が既にあるのですね、あるのですけれども、この法律は一回も施行されたことが無くて、今170円を迎えているというおかしな現象になっております。

何故この法律が凍結されて我々は一回も減税の恩恵を受けてないのかというと、大震災です。大震災が起こって、一旦この法律を凍結させるという法律を作った訳です。ですから凍結を解く為にはまた法律をつくらないといけないという、2重3重の大変ややこしい法律の中で今回は抑制策が出されるということです。

今日は朱宮さんお見えなのですが、元売り各社でございますが、元売りが大体3円から最高で5円までの卸価格から値引きをして各小売りさん方へ卸すと、これは政府との約束をすると言うことで、必ず売った分から5円/ℓ政府から援助を受けられるということです。小売りさんから今度我々消費者の方へは何も約束はございません。抑制策なので縛りはないと言うことで、現状の価格で売っても良いし、値引きをしても、どちらでも構わないので、それは小売店さんにお任せするというものであります。

非常にちょっと曖昧な政策で、私はちょっと理解に苦しむというか、どうなっているのだろうかと言うことで、石油連盟のENEOSの会長さんで杉森さんという人の発言があったので拾ってきたのですが、今回は急に価格が上がることを防ぐ為であって、下げる為の措置ではないという発言がございました。ですからやっぱり我々にはあまり恩恵はないのかなと思いつつ、朱宮さんのところの様な非常に良識のある、心のこもった価格でガソリン、灯油を分けて頂けるお店に我々は行った方が良いのかなという風に思いましたので、会長の所感とさせて頂きました。

今日もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



## その他委員会報告

### ◎次年度副幹事(安田 一生君)

＝22-23年度第1回理事会(内容変更)のご案内＝  
日時：2月2日(水)

会議 18:00～~~懇親会 18:30～~~

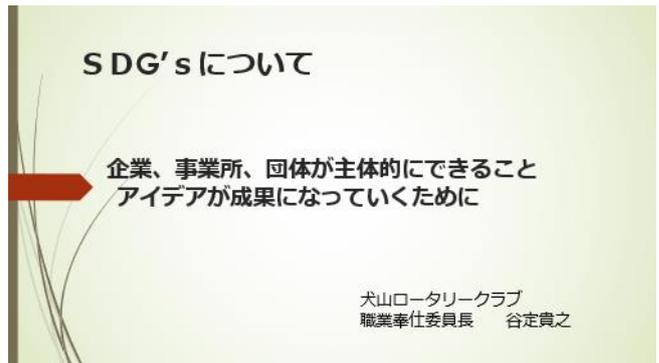
場所：大安

~~\*送迎バス 17:30 犬山駅東口発~~

会費：5,000円に変更

※会議のみ開催とし、お弁当をお持ち帰りいただく。  
送迎バスの手配中止。お店まで直接お越し頂きたい

## 職業奉仕担当例会 (谷定 貴之委員長)



失礼致します。本日は貴重なお時間頂きましてありがとうございます。例年ですと職業奉仕担当例会と言うことで、職場訪問をさせて頂いておりますが、コロナと言うこともあり職場訪問が難しく、また本日は卓話をさせて頂く理由と言うのは、今年カーボンゼロという事を各ガバナーが提示されておまして、そのカーボンゼロに関して、皆様の事業所でどのような活動をしているのかを発表すると言う事が来ております。

カーボンゼロとは脱炭素なのですが、1年、2年で出来るような内容では無いですし、また今問題になっておりますのは、ドイツが原発全部廃止して、最初賞賛されたのですが、ここへ来て原発が無いと電力不足が非常に大変な事になって、どうしてもロシアと仲良くなっていかないとドイツがやっていけないと、言うような状況になっているそうです。ということは、あまり火急にいろんな事を極端にやり過ぎると、良い結果が出ない訳です。カーボンゼロという事を伝え聞いてはいるのですが、そこにSDG'sという言葉、皆さんもお見知りおきで、中には研究されている方、事業の中で取り入れている方も多くお見えかと思いますが、このSDG'sという言葉がずっと一人歩きとは言いませんが、世の中にはびこってきて、どうしても避けられない問題になってきているので、SDG'sというものがどんなものかと言ったことを、釈迦に説法になる可能性もありますけれどもお伝えさせて頂きながら、皆さんの事業の中で最終的にはカーボンゼロということで、どんな取り組みが出来るかと言うことについてのヒントになれば良いかと思ひまして、本日この時間を頂く事が出来ましたのでよろしくお願い致します。



1

SDG's,全部言うと Sustainable Development Goals 「継続可能な開発目標」と呼びます。これがここで17項目出ております。17項目が最初に私が目にしたのが、私は地区社会奉仕委員会の方に今回も出向しているのですが、以前にも4年間出向していきまして、環境担当副委員長と言う事で、愛知県の環境部会の方に参加させて頂きました。昔COP10というのがあったのですが、COP10がずっとそこで議題に取り上げられ、成果を発表して、COP10が終わった年にいきなり出てきたのが、このSDG'sだったのです。出てきた時は何の事やら全然分からない、今まで環境環境と言っても内容見ると環境でない事もいっぱい出ていますので、このSDG'sというものが、中々難しそうで直ぐ浸透するかな？と思いましたが、あっという間にマスコミが取り上げて、各企業がこれをやらないといけないような、マスコミもそんな感じで日本の中にこのSDG'sが広まっていったと。SDG'sは17の目標と169のターゲットで構成されています。これをいきなりこれをやろうとか、あれをやろうとか、非常に難しい問題であると捉えております。今日簡単にカーボンゼロに含まれないものもあります。どんなものがあるのかと言うのをご提示させて頂いて、皆様のヒントになればと思っております。

## SDG'sとは

国連加盟193か国が達成を目指す2016年から2030年までの国連目標のこと。  
17の目標と169のターゲットが設定されている持続可能な開発目標。  
ポイントは5つのP  
People (人間)  
Prosperity (豊かさ)  
Planet (地球)  
Peace (平和)  
Partnership (パートナーシップ)

2

このポイントは5つのPで人間、豊かさ、地球、平和、パートナーシップと理想的なことがあげられていますが、このSDG'sの一つ一つの項目を読ませてもらいますと、個々でやると言うよりは、世界がどう動いていくのだと言うことが書かれている訳です。ですから、余りにも大き過ぎまして、逆に余り関係ないかな？という風に思いがちになります。それでは困りますので、このSDG'sをどの様に進めていくかと言うことに関して、少し内容を見ていきたいと思っております。

SDG'sは世界の方向性、標準になってしまいました。企業に関しましても、取り組んでいないと融資、取引に多大な影響が出ることもあると言われております。例

えばよく言われるのが、カーボンゼロに対して、カーボンゼロ商品を作ったのだけど、作る過程の物はそうなのですが、作る過程の電力が火力発電を使っていたら認めない！とかですね、そういう形でどこまでも追いかけてくるような物になりつつあります。やはり会社を率いていらっしゃる皆さんにとっては非常に大きい問題になるのではないかと感じております。

カーボンゼロに直結はしませんが、この中のSDG'sでどんなものがあるのかと、少しご披露したいと思います。

「貧困をなくそう」という項目があります。

スラム街は日本に無いですが、世界を見るとスラム街というのはいっぱいあり、無法地帯になっているところもあるのですが、1日1.25ドル未満で生活している人々と定義されています。今のところ日本は関係ないのですが、世界の先進国の中で見ると、残念ながら子供の貧困率は日本がワースト1と言うことで、学校に行っている子供の貧困率は先進国だと日本が一番貧困だそうです。この先日本の経済が縮小していってしまうと、スラム街が出来上がる可能性も大いに有り得ると言うことが考えられます。スラム街が出来ると、インフラが整備されていないような状況になり、焚き火したり等二酸化炭素が発生しますので、そういう考え方ではないかと僕は思っています。

貧困をなくすにはどんな事ができるのか。

### 1.社員給与の引き上げ・格差解消

給料を引き上げれば貧困にはなっていないのですが、これはよく言われる格差解消と。契約社員とか、外国人労働者の賃金格差を無くしましょうという様なことが叫ばれている。

### 2.地域、子ども食堂等への支援

子ども食堂で貧困の人を、守りましょう。

### 3.不用品、余食材、衣類回収、地域配布

これは恵むとかそういう事ではなくて、現在の子供が置かれている環境を凌いで、その子供さん達にチャンスを与えていこうと。それによって貧困が続く事を阻止して、皆さん平等に機会を得られるように持つて行くのが大切な事なのではないでしょうかという内容だという風に私は認識しております。

次に「働きがいも経済成長も」

SDG'sの8番目に入っている内容です。

### 1.生産性を大幅に上げないと、成長はなし

不要複雑ワークのアウトソーシング、優秀な人材確保

### 2.経済成長は大きくは見込めないが、企業としては可能

3.企業のビジネスプランが策定してあるかどうか  
世界各国で環境というのは違いますので、日本ではどうなのですか？と。失業率も低いですし、日本は先進国じゃないの？という風に思っらっしゃる方もまだ殆どだと思いますが、これが正しいかどうか分かりませんが、昨年、平均給与が韓国に負けたと、韓国に抜かれたと、そういう衝撃的なニュースも入ってきている訳です。経済成長に関しては、業界という部分もあるのですが、成長する企業がいくつあるかと言うことで、非常に大きなポイントになってくると思いま

す。なので特にこの皆様に置いては、働き甲斐と経済成長に非常に重点を置いてもよろしいんじゃないかと、私は思うところがございます。これはどういう事が考えられるかと考えてみたのですが、やはり人口が減っていきます。ただ人口が減るとそのまま駄目になるかというと、例えばイギリスという国は日本の半分ぐらいの人口ですけど、先進国として成り立っている訳です。今後考えていかなくちやいけないのは、生産性を大幅に上げていかないと成長はないんじゃないかと。外部に任せて逆に効率の良い物を色々と発生すると思うのです。なので、アウトソーシングとかですね、中には優秀な人材を確保していくと言うことは非常に重要であって、影響力を及ぼしていくと。皆様の企業のビジネスプラン、我々も仕事上個人のライフプランというのをいろんな所でやって、学校でも授業でやっているのですが、企業用にもビジネスプランでございますので、やっぱりビジネスが今後どうなっていくか、継承を含めてビジネスプランが策定してあるかどうかという事が非常に最終的には従業員の皆さんの働き甲斐にも繋がっていくのではないだろうか。やはり個の判断、方針は空回りしがちなんですが、集団であればいろんな意見も出ますし、決めた事の施行も早いと。中には外部の力を借りた方が効率が良いという事が考えられますので、全て自社で抱えるやり方もありますが、人材確保、育成、財務、経理と違いますが、財務と福利厚生ですね、財務と経理の違いというのは、財務というのは税金その他その事ではなくて、今ある会社の資金で今後何をやるかと言うことが財務部ですので、財務含めて皆さんの活動範囲がより広がるような事をやっていく事が、実は最終的には従業員の皆さんへの働き甲斐にも繋がると言う風に考えております。

#### 「住み続けられるまちづくりを」

##### 1.城下町活性化の方策は、成果を上げている

これは犬山市が非常に優れていると思ひまして、僕ら小さい時は本町通りの状況と今の状況は全然違う、違う町になってしまったぐらい。これは城下町活性化の方策というのが成果を上げておりまして、これは日比野パスト会長が犬山まちづくり(株)から始まり、そこから色々な波及があり、あれよあれよという間に一大観光地になってしまったと。やっぱり先見の明と言うか、そういう活動を行っていく、これは個々の企業の皆様、企業の集合体でも出来ると思ひます。

##### 2.移住で人気の街づくりは、教育、利便性

古き良き時代と最先端技術の融合

##### 3.高齢者にやさしい街

次に何をやっていかなくちやいけないか、よくニュースで取り上げられるのが、関東圏が多いのですが、移住される町の人気ランキングみたいなのがやっていますが、それって教育、利便性、古き良き時代と最先端技術の融合と、これ犬山の事なのですが、移住者が犬山にどれぐらい来るのであろうかと、また今後どんどん進む高齢者に優しい町というのを考える訳です。これは、個々の企業、日比野さんは会社設立されて実行されましたけども、個々の企業でやる事も出来ます

が、やっぱりロータリークラブ含め、団体でより、奉仕、ビジネス活動をしていくことによって、犬山市というのを住み続けられるまちづくりと言うことで、どんどん勤めていけるのではないかと考えております。

#### 13 番目「気候変動に具体的な対策を」

- 1.環境整備 緑化、河川浄化、里山整備
- 2.企業内継続施策 ビオトープ、屋上緑化
- 3.設備改善 LED 化、自社内太陽光発電

これは所謂カーボンゼロに繋がっていく事なのですが、中にも書いてあることは、後発、発展途上国及び、小さい島の途上国ですね、そういうところに焦点を当てるとか書いてあるのですが、ここにカーボンゼロという言葉が入ってないのです。ですが、例えば14番「海の豊かさを守ろう」、それから15番「陸の豊かさを守ろう」という項目があります。この豊かさを守ると言うことが、脱炭素という事に。脱炭素だけでなく、ごみの問題もありますよね？海洋のゴミの問題、それでビニール袋全部5円ずつとられる事になったのですが、そういう事が全部全部合わさってカーボンゼロになると。今年度、杓名ガバナーもカーボンゼロという事を大々的にポツと出されました。コロナゼロも出されましたが、杓名ガバナーも1年でカーボンゼロが出来るとか、そんな事は全然思っていない訳ですが、カーボンゼロ施策をロータリーとしても、個々の企業としても、今年を出発する年にして欲しいという杓名ガバナーの願いがあって、カーボンゼロと大きく打ち出されたのだと思ひしております。

この気候変動に関しても、じゃあ我々に出来る事と言ったらなんなのでしょうか。これは私が地区社会奉仕委員として出向して、環境の副委員長やっておりますので、2760地区の各クラブの活動をCDに纏めました。環境整備、緑化、河川浄化、里山整備、この河川浄化に関しては名古屋市内も毎年堀川の清掃を行う、そういうクラブもございます。犬山市の場合は木曾川があります。木曾川、郷瀬川、五条川がございしますので、それぞれに活動されている企業もあれば、ロータリーとしても目を付けるところはあると、それから次は企業内継続施設、ビオトープというのは何かと申しますと、人工で作った池とかです。日曜日にやっている「鉄腕DASH」というテレビ番組ご存じの方も多いと思ひますが、TOKIOがビルの上に発泡スチロールで池と周りの環境を作ったら、蛍がやってきたと言うような事をやっているのです。後、DASH島という島を開発したりですね、自分達でやっている訳です。そういう形で、これは難しいのは難しいのですけれども、例えば敷地がちょっとあるからビオトープを設立してみようかと。また少し郊外にある会社ですと、獣道をワザと作って、キツネの歩く道を作っているとかですね、そういう形で野山と融合を図るところで企業内施設というのをされているところもあります。これは緑化に繋がる、緑化、河川の浄化等全部、これが本来の木々は二酸化炭素を吸いますし、海も二酸化炭素を吸収しますので、やはりこれが大きく言えばカーボンゼロの大きなところへ繋がる道なのです。こん

な小さな事からも、そこに参加していくことが出来るという事をご理解して頂けると有り難いかなど。

後は設備関連では多くの会社で進んでいると思うのですが、電球の廃棄のサイクルが非常に変わりますので LED 化を進めるとかですね。社内を太陽光で賄うとか、お金かかりますけど、そういう事も実際には必要じゃないかなと思っております。この事例については毎年地区社会奉仕委員会が発行しております CD が事務局にごさいます。2760 地区の全クラブの事例が載っておりますので、例えばそれを借りられて、参考に何かやれることはないだろうかと考えて頂くのも非常に良いことではないかと思っております。

## 非常に多くの項目があります。

カーボン0という言葉が、先行しているが  
脱炭素が全てではない、時間もコストもかかる！

世の中は一気に様変わりしているのは事実。  
継続事は必ず多方面に成果が出るため  
小さなことでも、継続して、アピールして  
仲間を増やして、実効成果に結びつけましょう。

別にこれはカーボンゼロを批判している訳ではないです。カーボンゼロという言葉が先行している、これはもうこの世の中がそうです。ガバナーが先行しているのではないです。世の中がカーボンゼロ、カーボンゼロと脱炭素ということをおっしゃるけれども、脱炭素というのは時間もコストも先程も言ったように、太陽光入れるだけでコストかかります。各企業様においてはいくら何でもそんなお金かけられないわと。当たり前前の話です。ただ、世の中がコロナになりまして、大きく様変わりしている事は皆さんもういつも肌で感じられていると思います。小さな事でも継続してこれをやろうと決めて進めて頂きましたら、伊藤さんにも話しましたが、魚錠さんではマグロの血合いから犬の餌を試作してみたという、捨てる物、廃棄をする物を少しでも無くそうと言うようなそんな事のチャレンジはこれは上手いきさうだと言う事を継続。それを個々の皆様の企業で、個々で進めていくのもありますし、例えば土木関係の業界も犬山 RC であれば何社かある訳ですから、そこでこんな事が出来ないか、また先程申しましたように、子ども食堂、まあこれは社会奉仕の方の RCC という活動の中に入れることも出来るのですが、苦しい中で頑張っている子ども食堂があったらそれを支援できないとか、本当にそのカーボンゼロに全て繋がっていくと僕は思っていますので、やれる事をしっかりと続けていけたらなと思っております。

こんな偉そうに喋っていますけれども、私はたまたま経験したので喋れるだけなのです。皆様の場合は従業員の皆様の率いて日々そういう事に頭を悩ませ、精進されていて、私なんかこんな前で偉そうに今日皆さんに何か言うべきではないと思っています。ただお伝えする事で少しでも皆様が何か気づきがあったら、よし、やってみよう！とか、ロータリーの中で折角仲間

がいっぱい居る訳ですから、ロータリーの中でこんな活動やってみようかなとか言う事に繋がれば、職業奉仕、社会奉仕と本当にどっちがどっかわからないのですが、職業奉仕、ロータリーの中で根幹となる職業奉仕というところで、自分達が出来ることがこんなにあるのだと言うことを、犬山の底力として広めて、それがやがて地区に伝わり、地区で発表され、模倣してくるロータリークラブが増えれば、やっぱりロータリークラブの世の中にある存在意義がより強まると思っておりますので、まあそんなことで今日はこういう形で卓話をさせて頂きました。

どうもご清聴ありがとうございました。



## ご報告

### ○第3回クラブアッセンブリー

1月25日(火) あじかさんにて、第3回クラブアッセンブリーを開催。新型コロナまん延防止等重点措置期間であることから会議のみの開催となりました。

